

## 【政治学原論】

### 期末試験についての説明

大賀哲

#### 【採点方針】

採点については以下の5点を、60点満点で採点します(傾斜配分)。

- ① 【10点】問題文の趣旨を理解し、適切な回答が示されているか
- ② 【10点】教科書または授業の内容が理解できているか
- ③ 【10点】単に教科書の言葉・術語を反復するのではなく、自己の言葉で論を展開できているか
- ④ 【15点】上記を踏まえた上で、自己の意見を展開できているか
- ⑤ 【15点】自己の意見を論理的・説得的に展開できているか

#### 【形式】

- ① 大問をひとつ出すのでそれを2000字前後で論述する(採点方針に記した5点が満たされていれば字数の多寡は問いません)
- ② 指定した教科書・参考書のみ持ち込み可(留学生の日本語辞書持ち込みはこの例外とする。また教科書・参考書への大量の書き込み、ポストイットやノートを貼り付けるといった行為は不正行為とみなす)
- ③ 教科書=『法と国家』 参考書=講義での配布物(文献のコピーのみ)

#### \*\*\*【期末試験問題】\*\*\*

「国家」についての法学的アプローチと政治学的アプローチの相関はどのようなものか、それぞれの特徴・相違点・共通点・両者の関係について代表的な論者を参照しながら説明してください。また、そうした国家観についての法学的および政治学的アプローチが、国際社会を論じる際にどのような示唆を与え得るのかを論述してください。

\* 論点は自由に設定して良いです

\* 以下は減点対象とします。

- ① 術語や概念の定義がなされていないもの
- ② 理由付けや具体的な説明が伴っていないもの
- ③ 文意が明示的でないもの(明らかに二通り以上の解釈が可能であるもの)

例) 日本は平和主義の国である

「日本は戦争をしない」という意味にもとれるし、「平和のための戦争」は許容するという意味にもとれる。

#### スケジュール

～1/15(金) 課題得点の周知+課題採点のクレーム受付

1/19(火) 試験

1/24(日) 採点結果をWCTに反映(答案用紙は学生係りに返却)

1/25(月)～1/31(日) 期末試験採点についてのクレーム期間

## 課題講評 0112

### 課題④法規範の特徴(道徳規範・宗教規範・自然法則との対比)

- 違法行為と制裁を明示している
- 当為命題:経験命題ではない
- 法は「力」の使用を協同体(国家)の独占とする⇔原始法秩序との関係  
個々の規範の具体例、ケルゼンの分類方法の妥当性

### 課題⑤国内社会と国際社会

- 自然状態と社会契約
- 国内法と国際法(の質的差異)
- 正戦論と原始法
- ◎ 集権化と分権化⇒国内社会と国際社会の差異を決定付けている要因

### 課題⑥

#### 1. 国際法と国際法協同体

国際法の法的性質(違法行為、制裁、原始法)

原始法は法秩序と呼び得るか?

国際法協同体の「制度」

#### 2. 国際法と主権

主権と統治権の違い

分権的な国際法秩序と集権的な主権秩序

両立する場合と、両立しない場合

#### 3. 法と秩序

合法性(安定期)と正当性(転換期); 規範主義、具体的秩序、決断主義

法が秩序を規定する or 秩序が法を規定する

### 課題⑦「正しい戦争」と「正しい敵」

正しい戦争:戦争の違法化

正しい敵:対等な交渉相手、殲滅戦争の回避

9.11以降の状況 国家間戦争という擬制

### 課題⑧世界平和についての命題

世界連邦論(国際連盟期・戦間期理想主義・「世界政府」論)

国家連合論(穏健な平和主義、国際連盟・国際連合論)

古典外交・平和的変更(外交による平和、ヨーロッパ公法、戦間期イギリス)

\* 学問としての国際法学・国際政治学の「政治性」

\* 平和主義と戦争違法化 (+世界政府論)

## 期末試験講評

事前に告知していたように課題点(40点)と期末試験(60点)の合算で成績評価を行なっています。期末試験の採点基準は以下の通りです。

【設問】「国家」についての法学的アプローチと政治学的アプローチの相関はどのようなものか、それぞれの特徴・相違点・共通点・両者の関係について代表的な論者を参照しながら説明してください。また、そうした国家観についての法学的および政治学的アプローチが、国際社会を論じる際にどのような示唆を与え得るのかを論述してください。

- ⑥ 【10点】問題文の趣旨を理解し、適切な回答が示されているか
- ⑦ 【10点】教科書または授業の内容が理解できているか
- ⑧ 【10点】単に教科書の言葉・術語を反復するのではなく、自己の言葉で論を展開できているか
- ⑨ 【15点】上記を踏まえた上で、自己の意見を展開できているか
- ⑩ 【15点】自己の意見を論理的・説得的に展開できているか

まず、お気づきかと思いますが【課題は】かなり甘く、【期末試験】はやや甘く採点しました。というのは、先ず上記基準の性質上、知識の習得度よりも論理展開の明晰性が高く評価される構成となっています—これは単に知識を「覚える」ということよりも、与えられている情報をもとに、自身で論理を構成する能力を評価するためです。但し、論理的思考能力はその習得度に個人差が認められるため、懸念される点としては、講義内容に能動的に取り組んでいても(論理的思考能力の習得度の違いから)必ずしもそれが成績に反映されにくいという状況が生まれる可能性があります。この理由からやや採点を甘くしています。なお全体として減点法で採点しています。

全体として受験者平均が7割程度になるように採点しました。平均点は60点満点で**46.9**点でしたので、出来は良かったほうだと思います(ちなみに最高点は60点、最低点は25点でした)。個別の回答へは既にコメントをフィードバックしているので、ここでは全体に共通する要因として、どのような基準で採点を行なったのか、減点対象を列挙します。

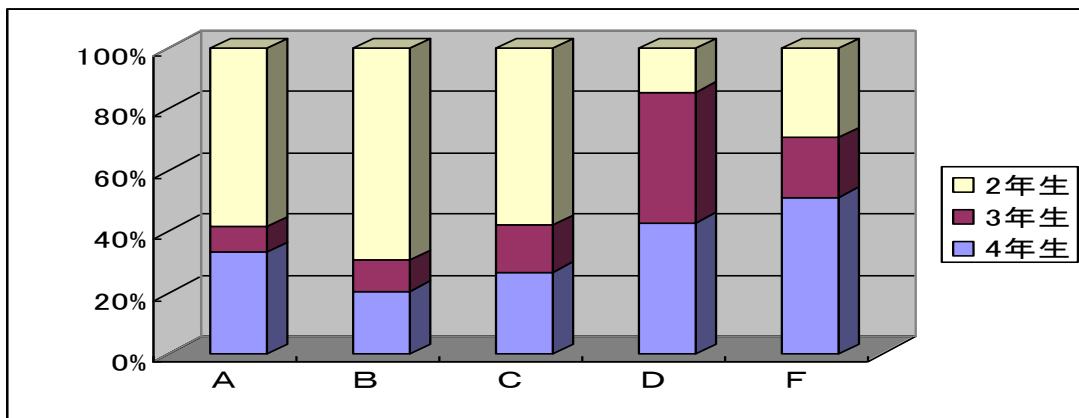
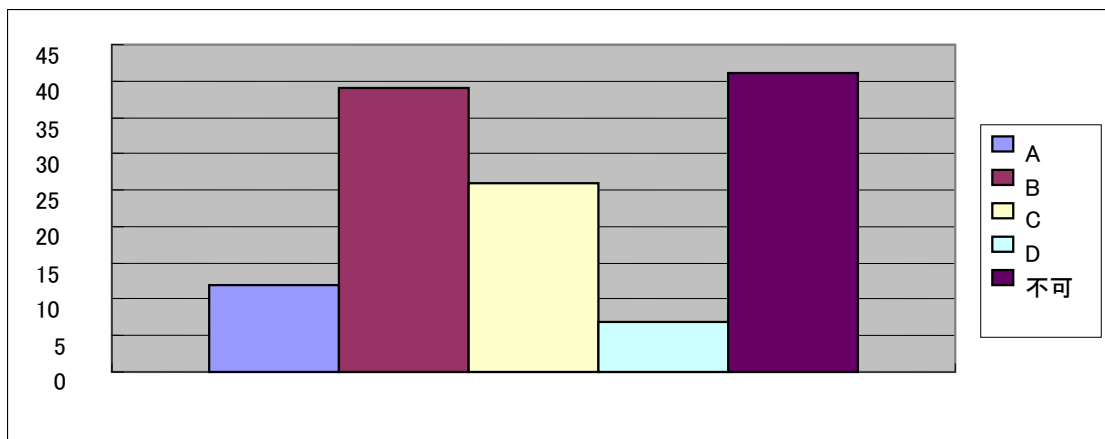
### 【減点対象】

- ・ 回答に先立って設問文に対しての自己の解釈・定義などが示されているか？
- ・ またそれを踏まえて、回答手順を明示されているか？
- ・ 単に論点を列挙するだけでなく、かかる論点がなぜ、どのように重要であるのかを考察できているか？
- ・ 各論点の関係や重要性が比較検討されているか？
- ・ 国家におけるアプローチを論じる前半と国際社会への示唆を論じる後半の関係性が明示的に示されているか？
- ・ 自己の見解や考察の提示にあたり、概念の定義、理由付け・根拠の提示、(必要に応じて)具体例・例証・補足説明などの示唆が含まれているか？
- ・ 国際社会への示唆については、その方途・方法や実効性が具体的に考察されているか？

また全体としての統計情報は下記ご参照ください(未受験者・履修中止者も含まれています)。

\*統計上、履修中止者はFとして数えていますが、成績上はW(履修中止)となります

	A	B	C	D	F	合計
4年生	4	8	7	3	21	43
3年生	1	4	4	3	8	20
2年生	7	27	15	1	12	62
合計	12	39	26	7	41	125



お疲れ様でした。  
大賀哲